

令和3年6月11日

校長室だより

第3号

座間市立相模中学校
校長 金子 憲勝

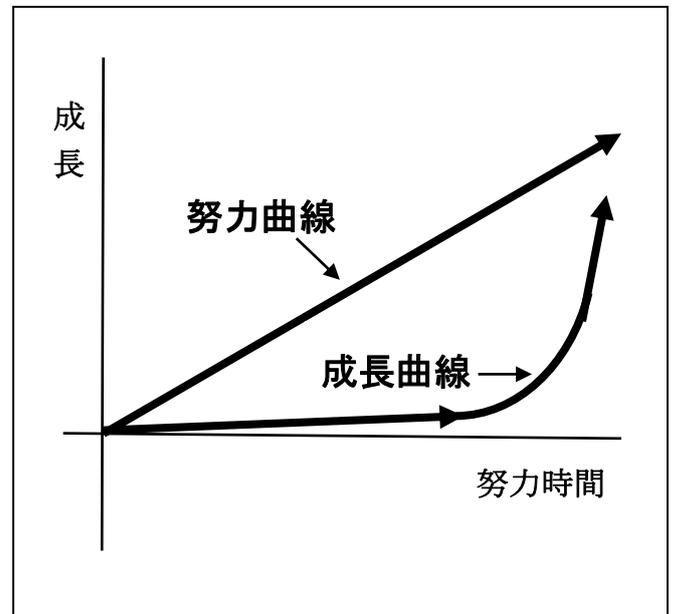


「努力曲線と成長曲線」について

今回の校長室だよりでは、ご存じの方も多いかもかもしれませんが「努力曲線と成長曲線」について載せます。昨年度相模中学校に異動してきてから、私は多くの授業を見て生徒の様子を確認しています。生徒の様子を見てると一生懸命に勉強している生徒が多く、頑張っていると思う生徒が多数います。とても素晴らしいことです。ただ、人によっては努力をしているのだけれど結果がともなわずに悩んでいる人もいるようなので、1学期の期末試験前のこの時期に「努力曲線と成長曲線」について皆様にお伝えしたいと思い紹介することにしました。現在学習面で努力をしている生徒が多くいることと思うので、少しでも参考になれば嬉しいです。

右の図を見てください。努力を継続的に行っても、最初は思うように成長しない時期が続きます。それが、成長曲線の最初の部分です。最初は、ほとんど変化がないのですが、その後継続して努力を続けているとどこかの地点で飛躍的に成長する日がきます。それが、右図の急に上昇している部分に当たります。この部分を「ブレイクスルーポイント」(突破した地点)と呼びます。

努力しても結果が出ない時に、諦めずに継続して努力をし続けることが大切なのです。結果が出ないときほど、これから成長する時期がくることを期待して努力を続け、生徒たちには現状を打破して欲しいと思っています。



登校時と朝読書の様子

私は、職員の朝の打ち合わせを終えると教頭先生とともに正門に行き、生徒に挨拶運動を行っています。私や教頭先生に元気よく挨拶をしてくれる生徒が多くいて、私たちは生徒から元気をもらっています。今年度に入って特に良いと思っていることは、時間に余裕を持って登校する生徒が多く、8時30分ギリギリに登校する生徒はほとんどいません。挨拶ができる生徒が多くいることと時間に余裕を持って行動できていることが、とても良い点です。

また、朝読書の生徒の姿を見てると、「相模中生は、素晴らしい！！」と感じています。どのクラスも、落ち着いて本を読んでいて、安心して生徒の姿を見ていられます。また、学校図書館司書から話を聞くと、今年度も昨年度同様に本を借りにくる生徒が多く、図書館司書としてやりがいを感じてくださっています。その他、座間市教育委員会の人と話していた時に、「相模中生は、学校図書館の本を沢山借りていますね！」とお褒めの言葉をいただきました。私は、小・中学生の時に、多くの本を読んで創造力を膨らませて欲しいと思っているので、その人の言葉を聞き、嬉しくなりました。

